

様式第4号(第5条関係)

令和5年4月5日

菊池市議会議員

様

議員名 緒方 隆郎

令和4年度政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項目	金額	備考
会議研修費	95,090	地方議員研究会研修
調査研究費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	187,000	議会活動報告
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費	55,000	農業政策に関する要請書提出
合計	227,090	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額

0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



領収証

2022 年 11 月 18 日

緒方哲郎 様

★ ¥30,000

但 11/18 10時～ 地方に人を呼び込め これからの観光戦略  
11/18 14時～ 地方に人を呼び込め 驚きの人口増加策  
研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区御田4-2-7  
大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6863-967

熊本国際空港株式会社  
阿蘇くまもと空港駐車場  
TEL 096-232-3670

令頁 収 証

精算機 #11	P 精算No.000117
発券機 #02	発券No.020420
入庫時刻	2022年11月17日(木) 11:29
精算時刻	2022年11月18日(金) 21:29
駐車時間	1日 10:00
駐車料金	A料金 2,000円
=====	
合計	2,000円
現金領収額	2,000円
お預り	2,000円
お釣り	0円

またのご利用をお待ちしております。

領収証

ADVENTURE skyticket

緒方 哲郎 様

NO. 1469849

¥ 63,090-

但し、印字券、印字費として

入金日: 2022/10/28

発行日: 2022/11/19

支払い方法: Credit Card

左記、正に領収いたしました

〒150-6024

東京都渋谷区恵比寿 4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー2F

ADVENTURE 株式会社アドベンチャー

ADVENTURE スカイチケットカスタマーサービス

URL: <https://skyticket.jp>



🔒 skyticket.jp



広報費 187,000 円

# 領収書

緒方哲郎 様

令和 5年 1月 29日

領収金額	¥187,000-
------	-----------



但し 上記の金額正に領収致しました

内訳明細	現金	0
	小切手	
	手形	
	相殺	



株式会社 扶桑グラフィックズ  
 〒861-8029 熊本市東区西原2丁目1番1号  
 TEL 096-382-3530 FAX 096-382-3531  
 E-mail fusographies@winetel.com

取扱者



要望・陳情活動費 55,000 円

# 領収証

緒方哲郎 様

No.

金額	¥55,000-
----	----------



内訳

現金

小切手

手形

消費税額等(%)

コクヨ ケー-890

但し 1/25 研修費用にて

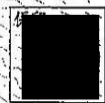
令和 5年 1月 16日 上記正に領収いたしました

〒861-1351 熊本県菊池市七城町砂田1497-1

株式会社 九州セブン観光

代表取締役 坂本 正

TEL 0968-25-5177 FAX 0968-25-5513



# 経済対策を考える議員の勉強会、および 農業政策に関する要望書の提出 行程表

## 【日程】

### 1月24日（火）

- 8：20 熊本空港発（ANA642）  
9：50 羽田空港着  
10：30 電車にて移動≪620円≫  
羽田空港～（京急空港線・都営浅草線）～新橋駅～（銀座線）～虎ノ門駅  
13：00 経済産業省  
『経済対策に関する勉強会』  
16：00 虎ノ門駅～（銀座線）～溜池山王駅（翌日の国会議員会館の最寄駅）
- 宿 泊 赤坂エクセルホテル東急  
※最終目的地～ホテルまでの交通費は請求しない。

### 1月25日（水）

- 8：55 赤坂エクセルホテル東急発  
9：05 電車にて移動  
赤坂見附駅～（銀座線）～溜池山王駅  
※ホテル～前日の最終目的地までの交通費は請求しない。  
9：30 国会議員会館  
『農業政策に関する要望書の提出』  
・坂本哲志 衆議院議員  
・松村祥史 参議院議員  
・藤木真也 参議院議員  
・馬場成志 参議院議員  
13：00 電車にて移動≪620円≫  
溜池山王駅～（銀座線）～新橋駅～（都営浅草線・京急空港線）～羽田空港  
14：55 羽田空港発（ANA645）  
16：50 熊本空港着

衆議院議員 坂本哲志 殿

## 農業政策に関する要望書

令和5年1月25日

菊池市議会有志議員一同

日頃、菊池市議会の活動にご理解いただきありがとうございます。

菊池市は西日本最大級の畜産酪農地域であり、米や水田ごぼう、フルーツなどの生産も盛んであり、全国の自治体の中でも上位の農業生産額を誇っております。

しかし、ここ数年新型コロナウイルスの経済に対する影響が長期化し、加えてロシアのウクライナ侵略に伴う穀物やエネルギーが高騰するなど、農業を取り巻く状況が大変厳しくなっております。

現在、国が補助金や助成金などの緊急対策に取り組んでいただいておりますが、それでもなかなか持ち直しできない状況です。このままでは、離農する農家が増え、菊池市の基幹産業である農業が衰退してしまうのではないかと危惧しております。

そこで、菊池市議会有志議員で、JAを中心に農業者からの意見等をお聞きし、それらを次頁以降にまとめました。これからの農業政策について、農業者への更なる支援を賜りますよう要望申し上げます。

## 要望事項

### 【要望の背景】

1960年代まで70%を超えていた我が国の食料自給率は年々低下した後、近年は30%台後半で下げ止まっている。ただ、この数字には輸入頼みの化学肥料や種子が加味されておらず、実態としてはもっと低いと考えられている。化学肥料の原料はほぼ全量を中国やロシアに依存しており、今後は価格高騰どころか、供給自体が難しくなる可能性がある。今後、中堅規模の農家の廃業がさらに進み、資材の供給も止まると仮定して試算すると、2035年の実質的な食料自給率は酪農12%、コメ12%、青果物や畜産は1~4%になってしまうという数字も出ている。

国は、食料自給を担う農家が減り続けている現状に強い危機感を持ち、生産コストを適正に価格転嫁し、価格へ転嫁されたコストは国民皆で負担する意識を持つようにすべきである。フランスなどヨーロッパでは、農家を守るために、国が農業所得を補償している例もあり、参照して頂きたい。

低い自給率=「命の危機」の認識を持ち、国民の命を守るため『食料こそ防衛の要』との考えにたち、食料自給率の底上げに向け、日本の農家が生産を継続できるような仕組みと消費者の理解を得られるようになっていくべきである。

### 【要望項目】

#### 1 生産資材価格高騰対策等の継続・充実

肥料・飼料・燃料・電力等の生産資材価格の高騰・高止まりは長期化しており、農業経営に甚大な影響を与えているため、昨年措置された肥料高騰対策等の生産資材価格高騰に対する影響緩和対策の継続と拡充を行うこと。

#### 2 生産資材の安定供給と輸入原料からの切り替え支援拡充

生産資材の安定供給の確保や輸入依存からの脱却に向け、肥料原料などの民間備蓄に対する支援や原料調達が多角化への支援を実施するとともに、粗飼料も含めた国産飼料増産体制の強化、広域流通・保管などへの支援を拡充すること。

#### 3 適正な価格形成の実現と国民への理解醸成

生産資材価格が高騰するなか、持続可能な農業生産を高めるため流通事業者や消費者への理解等をすすめ、国内農畜産物の生産コストの転嫁など、再生産に配慮された適正な価格形成の実現に向けた仕組みの構築を行うこと。

また、食料の安定供給にかかるリスクの高まりや農業・農村の持つ多面的機能等について、国民の理解の醸成に向けた運動を早急に展開・強化すること。

#### 4 食糧安全保障の強化に向けた基本政策の確立と予算の拡充

将来にわたる食料安定供給のため、食料生産に不可欠な人・農地・技術・生産資材等の安定供給や生産基盤の一層の強化と、食料・農業・農村基本法の検証・見直しを含め、食料安全保障を強化する基本計画を確立すること。

また、食料安全保障の強化に向けた予算を新たに確保し、農林水産関係全体の予算額を増額していくこと。

#### 5 影響の長期化をふまえた新型コロナウイルス関連対策の継続

新型コロナウイルスの影響が長期化するなか、農畜産物価格の低迷や在庫の増加等が生じた場合には、「経営継続補助金」「高収益次期策支援交付金」等の事業実地を含め迅速かつ万全な対策を講じること。

#### 6 農地の集積・集約化及び遊休農地対策の取り組みの強化

食料・農業・農村基本法で掲げる令和5年度達成目標の「全農地の8割を担い手に集積」について、条件不利地域においては農地集積が生産コストの削減に直結しない地域も多いため、対象地域については、地域の実情に応じた柔軟な設定をすること。

#### 7 労働力確保対策

県内外の農繁期が異なる産地間で人材の融通が図られるよう、外国人材等の短期間労働者の雇い入れを行える環境作りや事務手続き等の簡素化を図るなど、支援策や緩和措置を講じること。

#### 8 生産者向けの補助事業の要件緩和(全作物共通)

施設、機械、資材の取得価格が高騰しているため、単位当たりの補助金上限額の引き上げと補助率の上乗せを行うこと。

また、ポイント取得や採択(面積)要件、成果目標の緩和、実施期間の延長の見直しのほか、簡易ハウスの整備や機能向上のない施設の補改修及び老朽化ハウスの長寿命化を補助対象に拡大し、高騰する内部施設や生産資材の導入に対する負担軽減を図るなど、品目別に使い勝手の良い事業となるよう、要件の見直し・事業対象や予算確保の拡充を行うこと。

#### 9 輸送コスト低減対策



労働基準法の改正により、2024年以降、ドライバーの拘束時間の規制（物流業界2024問題）、標準運送約款の改正により、運賃上昇が懸念される。輸送コストの増加による農家手取りを防ぐため、物流課題解決対策を講じること。

#### 10 農業用廃プラスチックの処理料高騰等への対策

農業用廃プラスチックの処理料が高騰していることから、その処理料や環境に配慮し労働力の省力化にもつながる安価な生分解性マルチ、バイオPET等の環境配慮型資材への切り替えへの助成、産業廃棄物処理施設の高度化等による処理方法の研究開発をすすめること。

#### 11 有害鳥獣対策

野生イノシシやシカ等有害鳥獣は、豚熱や口蹄疫等の感染拡大リスクを伴う問題や農業生産物への被害・自然環境破壊・人的被害など大きな社会問題となっていることから、引き続きイノシシ、シカ、鳥類等個体削減に向けた総合的な有害鳥獣被害防止対策の強化を図ること。

#### 12 担い手・新規就農支援の拡充

消防団活動等地域の安全と安心・自然環境を守る地域の中核となる担い手へのさらなる支援の拡充、初期投資を最大1千万円支援する経営発展支援事業は、親元就農も支援対象になっており、生産現場のニーズが多いため、十分な予算を確保すること。新規就農者だけでなく、親元就農者も地域の担い手の中心であり、親元就農者へも年300万円程度の助成を行うこと。

また、生産資材の高騰及び他産業との人材獲得競争により、新規就農者の確保が難しくなっているため、国の補助対象とならない者を新たに支援するなど、対策を強化すること。

#### 13 農と商の連携強化

地域を作り・守り育てるためには、農と商の連携の必要性から農商一体的な支援の拡充を行うこと。特に菊池市のような地域は、商も一緒に成長していく必要があり、農と同規模の補助事業等を行っていくこと。

#### 14 品目別対策

##### (1) 水田農業対策

水田活用の直接支払交付金の見直しについて、5年間の水張りを行なわない農地を交付対象外とする要件については、飼料作物等の農業生産や中山間地域等の営農継続に影響を及ぼさないよう、地域や担い手の実態を踏まえた見直しをすること。

## (2) 畜産・酪農対策

### ①子牛生産振興対策

「肉用子牛生産者補給金制度」において、地域の特性を考慮して制度の大幅な見直しや、素畜や飼料代等のコストを加算した制度を策定すること。

### ②酪農生産振興強化対策

酪農の安定に関する法律(畜安法)の改正に伴う生産流通の自由化によって、酪農業界に与えた影響(生乳需給の混乱と酪農経営の不安定を招く実態)について検証すること。

### ③配合飼料高騰対策

配合飼料価格の高騰・高止まりの収束が見通せない中、民間財源の枯渇も見据えた配合飼料価格安定制度の運用改善等を図るとともに、生産者負担の急増を回避するため、引き続き十分な影響緩和策を措置すること。

とりわけ、「配合飼料価格高騰緊急特別対策」の第4四半期(1月～3月)の補填金を予算化すること。

### ④畜産クラスター事業等

畜産クラスター事業の十分な予算確保を引き続き行うとともに、現行補正予算で措置されている同事業を本予算に組み込み恒久化と、基準事業の上限額引き上げ、生産目標緩和、簡易牛舎整備事業の範囲拡大、リース関係の保証料、動産総合保険料等の諸経費補助等を実施すること。

### ⑤畜産環境対策

推肥の広域流通体制を確立するため、運賃・耕種農家側のストックヤードや散布機械への助成措置金化、堆肥等の高品質化・広域的な流通のための堆肥センター・ペレット・混合肥料工場等の施設整備、作業の担い手確保対策への支援及び助成措置を講じるとともに耕種農家におけるニーズの把握とマッチングを行う事業を行う事業を構築すること。

### ⑥熊本県産食肉・酪農の理解促進・消費拡大対策

熊本県において、“もう一杯の牛乳を”というプラスワンプロジェクトの取り組みが実施されている中、国産消費と飲用牛乳の消費拡大・PR活動の更なる強化に取り組むこと。

また、和牛肉保管管理在庫支援緊急対策の更なる延長を講じること。

⑦貿易体制強化対策

家畜伝染病侵入防止のため、水際対策や豚熱及び高病原性鳥インフルエンザの感染拡大防止対策を引き続き徹底・強化すること。

また、和牛肉保管管理在庫支援緊急対策の更なる延長を講じること。

⑧肉用牛・酪農ヘルパー組織確立、要員確保

肉用牛ヘルパーについては、畜産農家の高齢化や規模拡大に伴い、必要不可欠となっており、肉用牛ヘルパーにおける組織整備に関して継続した支援を行うこと。

また、酪農ヘルパーの要員確保対策とともに傷病時利用における負担軽減措置の継続を行うこと。

菊池市議会議員

お が た て つ ろ う

# 緒方哲郎 議会活動報告

2023年  
1月発行

## 聴く力を菊池から

議員が変われば議会も変わる・議会が変われば行政も変わる  
行政が変われば菊池市も変わる

### ごあいさつ

昨年五月の菊池市市議会議員選挙において無投票ではありましたが、当選させて頂き市議会議員として二期目の活動を始めさせていただきました。現在、菊池市においても全国的な少子高齢化、地球温暖化、身近なところでは環境問題・有害鳥獣問題等、また近年は新型コロナウイルスによる多方面への弊害と問題は山積しております。

一方で、菊陽町に TSMC という世界的な半導体の工場が進出し、雇用・人口増につながっていくものとの明るい話題もあります。

そのような中私は、【聴く力を菊池から】を、私自身のスローガンに掲げながら、『会して話し、議して論じ、論じて決し、決して行う』 愚直に、そして確実に議会改革を行いながら、一步一步市民目線の議会、また健全な議会になるよう努めてまいります。

## 緒方哲郎の3本柱

農業の  
振興と発展

福祉の  
充実

教育の  
充実

生まれ育った文教菊池へ感謝の心を込めて市政に取り組みます。

菊池市議会議員 **緒方哲郎**

〒861-1323 菊池市西寺2207-1(自宅)  
TEL・FAX 0968-25-0841

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 市政についての皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

## 令和四年 第二回 菊池市議会臨時会

令和4年6月7日

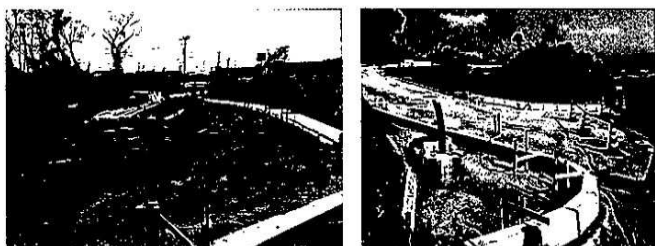
選挙後最初の議会が開会され、議長、副議長選挙・常任委員会・議会運営・議会広報特別の各委員会委員の選任、菊池養生園組合・菊池環境保全組合・菊池広域連合・熊本県後期高齢者医療広域連合の各議会議員の選挙があり、福祉厚生常任委員会委員長・議会運営委員会委員・熊本県後期高齢者医療広域連合議会議員の役職をいただきました。また、専決処分の報告と承認と、固定資産評価員の選任に対しての同意を求められ質疑・討論・採決まで行い、また、各会計の繰越計算書の報告を受け、質疑行い閉会しました。

## 令和四年 第二回 菊池市議会定例会

令和4年6月24日～7月15日

条例の制定について五案件、一般会計・特別会計の補正が四案件、監査委員の選任・人権擁護委員候補の推薦への意見、菊池環境保全組合の解散に伴う四案件、市道路線の認定、第三セクターの経営状況報告、専決処分の報告、請願・陳情を受け、審査しました。審査の結果、議員提出議案と陳情が否決・不採択となった以外は原案通り可決・採択・同意となりました。

一般質問は、「花房坂周辺公園整備事業について」と、「消防団について」質問をしました。花房坂周辺公園は、地域の皆様のおかげで坂の頂上付近に令和四年度内を目指して工事が進んでおりますが、私は、公園を作って終わりにするのではなく、公園を拠点にしていろんなことを組み合わせて、地域発展へ繋げていくべきと考えてます。その一つに、田んぼアートを提案しました。これから、実現目指して努力していきます。



建設中の花房坂周辺公園

消防団については、団員の確保が厳しい状況であることから、行政としても協力体制を整えていくべきとの考えを伝えました。

## 令和四年 第三回 菊池市議会定例会

令和4年8月31日～9月21日

条例の制定について四案件、一般会計・特別会計補正が六案件、一般会計・特別会計の決算の認定六案件、その他四議案、議事・意見書案・請願・陳情2・決・議案・報告6について審査しました。審査の結果、陳情1と決議案の不採択・否決以外は、原案通り可決・認定・採択となりました。

一般質問は、「本市の農業について」と「菊之池小学校の校舎の増築等について」を質問しました。農業については、新型コロナの影響で疲弊している農家支援と後継者問題をしっかりと行っていきべき想いと、菊之池小学校校舎については、子供たちが快適な学校生活を送れるような設計をすべきと伝えました。

## 令和四年 第四回 菊池市議会定例会

令和4年11月29日～12月21日

上程された議案は、原案通り可決・認定・採択となりました。

一般質問は、「有害鳥獣について」と「人口対策について」を質問しました。有害鳥獣については、同志議員さん方と被害状況を見て回ったり、八代、人吉へ研修視察した後に、有害鳥獣の個体数を減らすことが喫緊の課題であり、行政として予算の確保など必要であるとの考えを伝えました。人口対策については、自然増・社会増において他自治体の例を挙げながら取り入れていけるものは、取り入れながら人口増に繋げていくよう提言しました。

今回は、紙面の都合上簡単な議会報告となってしまいました。次回からは、更に詳しくもっと読みやすい議会報告になるようにしてまいります。今後とも、ご指導等よろしくお願いたします。

# 研修報告書

菊池市議会  
議長 水上 隆光 様

菊池市議会  
議員

請方 哲郎

件名 セミナー 復講

出張地 東京都千代田区有楽町

出張期間 令和 4年 11月 17日 ~ 令和 4年 11月 18日

上記により出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

「地方に人を呼び込め」 さらからの観光戦略

「地方に人を呼び込め」 繁栄の人口増加策

の2講座を復講いたしました。

さらからの観光戦略においては、観光の根幹は、「憧れ」とあり、理根と事例も人物に強く引きつけられることであることとされた。思い入れはコストや困難を全て超える強さがあり、憧れは勝ち負けではないことから、事例等を用いた説明があった。事例においては、ドバイ、京都市の観光戦略について説明があった。ドバイにおいては、「テーブル」の成規に基づいた巨大プロジェクトが造られ、人工的に何らかの観光資源を作り、世界的に注目される建造物を作ろうと展開していること、地方においては、大規模な事例で難しいこととされた。京都市においては、さらから外国人宿泊客数が増えることと大切であり、多様化する外国人に対する環境整備も重要に作っていくことの説明があった。

繁栄の人口増加策においては、自治体にとって人口政策は下への問題にかかわることとあり、大切であることと説明から推測、予測が

# 視察研修報告書

スピード感。先ほど、公共サービスを早く安く定量的に提供することを、  
求められているとのことでした。自然増・社会増に同じ基準例を適用させる。  
自治体自治体と別した扱いは、収入減をいくとも、市民の方へのアベレージは、  
人口増にもつらさがある。このように必ずしも(自治体と)は、  
柔軟な対応も必要なのことでした。  
今回学んだ事をこれから活かしていきたいと考えます。



# 日程表

令和4年11月17日(木)～18日(金)

議員名 緒方哲郎

17日

自宅 — 熊本空港 — 羽田空港 — ホテル(宿泊)  
自家用車 13時10分発 SNA16便 14時40分着 電車 アパホテル新橋

18日

ホテル — セミナー受講 — 羽田空港 ～ 熊本空港 — 自宅  
電車 10時～16時半 18時55分発 ANA649便 20時50分着 自家用車

リアアレンス新有楽町ビル2F



# 研修報告書

菊池市議会  
議長 水上 隆光 様

菊池市議会  
議員 絹方 哲郎

件名 経済対策を考へる議員の勉強会におき農業対策に関する要望書の提出

出張地 東京

出張期間 令和 5 年 1 月 24 日 ~ 令和 5 年 1 月 25 日

上記により出張しましたので、その概要を下記のとおり報告します。

参議院議員会館 B1F 会議室におき、中小企業者 6 名の方より

- 中小企業のデジタル化に向け
- かつくり、高業、サービス補助金等
- 小規模事業者持続化補助金
- 事業再構築補助金
- キャッシュ決済と IT 導入補助金
- 資金繰り支援につき
- 価格転嫁対策につき

の 7 項目について、お話をうかがい質疑をうけました。

・採用・雇用におき、デジタルに長けた方を雇用・採用していただく質問に、IT 型ヘルプ補助金等の活用や、相談窓口「よろす支援拠点」を活用するお答えのお返りいただきました。

以上、中小企業・小規模事業者支援策について報告します。

次に、農業対策に関する要望についてです。重要事項を 14 項目に  
ため、県選出国會議員の方へお渡ししました。

お返しに選出国會議員の方へお渡ししていただくお返り取りいただきました。



## 視察研修報告書

特に、坂本昭彦衆議院議員より、森林環境税の便益について、

防犯灯の電気料について、詳しくお答えをいただきました。

森林環境税については、森林整備に国庫との考えを以て、「イニシ対策」

「シヤ対策」の2つに予算をつけると構われないとの解答をいただきました。今後の有客鳥獣

対策として、有意義なものがあつたと思われました。

以上、報告いたします。